

# 緊急 トップインタビュー

宮城県社会保険労務士会

会長 星 孝夫さん(69)

各界トップにコロナ対策を聞くシリーズ。今回は宮城県社会保険労務士会会長の星孝夫さん(69)です。



一雇用調整助成金(雇調金)申請代行という重責を担っています。

経営悪化で従業員を従来通り勤務させられなくなった場合、経営者は休ませるか解雇かの選択を迫られます。解雇は社会的損失が大きいため、国はコロナ対策として雇調金の助成率を上げたり、申請要件を緩和したりして失業者の増加を防ごうと努めています。われわれ社会保険労務士は雇調金申請を代行できる唯一の国家資格者です。簡素化されたとはいえ、事業者が自ら申請するのは大変なので、宮城県内に560人いる会員に早めにご相談願います。

一代行には当然、費用が発生します。

料金は自由競争なので、依頼する事業者側と社労士

## 働く人を守ることも使命



側との個別のやりとりになります。一般的には、受給できた雇調金の何割とかが決めます。ただ正当な報酬とはいえ、窮地にある事業者からいただくのは心苦しい面もあります。近いところでは山形市のように、申請費用を補助している自治体もあります。宮城でも制度が広がれば、雇調金の活用が進んで救われる企業が増える上に、われわれも心置きなく働けます。地元経

新型コロナウイルス

ともに  
乗り越えよう

済を守るためにも、ここに注目する自治体が増えることを期待しています。

一社労士は経営者の味方とのイメージがあります。

われわれは「従業員を大切にすること、事業者のために働く」が基本理念。働く人を守ることも使命です。例えば勤務先が国の支援制度をうまく使えていないような場合、直接相談いただいても構いません。制度を知らないまま泣き寝入りしてしまうことがないように、社労士を利用してほしいと思います。

### information

毎週水曜の午後、事前予約制で「総合労働相談室」と銘打って無料で相談に応じている。通常は対面式だが、感染防止のため、今回は電話での相談となる。連絡先は宮城県社労士会022(223)0573。

企画・制作/河北新報社営業局